

## 令和5年度 水道局技術部組織目標

<b>組織名</b>	水道局技術部	<b>部長</b>	技術部長 山本 真司
<b>組織の目的・方向性</b>	老朽化に伴う施設の更新に併せて、水需要の減少を踏まえた施設能力のダウンサイジングを図るとともに、地震災害が市民生活に及ぼす影響を最小限にとどめるための耐震化を進め、効率的で強靱な施設を構築することにより、安定給水の確保を図ります。		
<b>(参考) 関連する総合計画における政策指標*</b>	一人当たり年間平均断水・濁水時間		

※政策指標… 目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

### 水道局技術部組織目標

新・新潟市水道事業中長期経営計画の基本理念「すべてのお客さまに信頼される水道」を実現するため、目指す方向性として掲げた「安全」「持続」「強靱」に関する目標を定め、個別具体的な施策や事業・取り組みを進めていきます。また、これらの目標に的確に対応するため、「人材育成」を継続・強化し、お客さま満足度の更なる向上を目指します。

この方針のもと、今年度は次の4つの目標に重点的に取り組みます。

#### 重点目標

- 1 「安全」水安全計画の充実・適切な運用を行います。
- 2 「持続」アセットマネジメントに基づき、計画的な施設の更新・整備を進めます。
- 3 「強靱」施設の更新・整備に併せ、施設の耐震化を進めます。
- 4 「人材育成」高い専門性や現場対応力を有した人材を育成します。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

### 評価

	重点目標の達成状況	目標数	4	達成数	4
<b>取組結果</b>	水質管理を適正に行い、お客さまに安全で「違和感のない」水道水を提供しました。また、施設・設備の計画的更新による予防保全、これらの業務を通じた人材育成を進めました。令和6年1月の能登半島地震では、西区を中心に液状化の被害を受けました。配水管の修繕は終了しましたが、破損状態の分析・評価を行い、引き続き効率的な耐震化を進めていきます。				
<b>今後の方向性</b>	水安全計画に基づき、安全でおいしい水道水の提供に努めるとともに、既存施設の健全性を評価し、優先順位を定め計画的に施設整備を推進します。 地震対応の教訓を生かし、災害発生時においても「命の水」をお客さまに届けることができるよう、一層の耐震化を進めます。 また、水道事業は典型的な装置産業であり、現場に基づいた技術を継承・向上させる必要があることから、OJTとOff-JTを適切に組み合わせて、効率的な人材育成を行います。				